輝ける瞬間（とき）第3号

伊万里実業高校定時制　生徒会

お疲れ様でした。　松本会長　古川副会長

卒業を前にしたお二人に、これまでのことを振り返り、率直な思いを聞いてみました。

私は中学校生活では、あまりいい思い出がありませんでした。その思いのままに本校定時制に入学しました。入学当初は、まだ同じような悩みを抱くのではないかとヒヤヒヤしていました。でも、今となってみると、期待以上に充実した生活を送ることができました。1年生の時から全国大会出場を目標に卓球に打ち込んできましたが、4年になってようやくチャンスに恵まれ、全国本年度は生徒会長を務めることになりましたが、最初は不安でいっぱいでしたが、先生方や皆さんのおかげで何とかやり切ることができました。皆さんには、何事にも積極的に挑戦して、悔いを残さないと思うことは、両親、先生、友達、後輩の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。卒業を前にしてありがとうございました。

私は、小学生のころには中学生が、中学生になると高校生が、到底かなわない大人に見えていました。しかし、実際に中学生、高校生になっても、年下だったころに感じたほどの大人に自分がなったのだとは思えません。高校生である自分から見れば、社会人は、どんな困難に直面しても何とかクリアできるほどに力強く万能な存在に見えます。もしかしたら、社会人になる直前の今、自分が頼りにされるようなまでに存在になれるのでは、何かの冗談であと2年間ぐらいは今のままでいられるのかと思えるほどです。私は、新しい環境を怖がり、現状維持を強く好む傾向にあるので、期待よりも不安の方が大きいです。とはいっても、時間は止まることもありません。まずは、社会人として立派に生きていくために頑張るしかないということも戻ることもあります。覚悟を持てるよう自分自身をしっかり見つめたいと思います。

年度末行事（親睦カルタ＆バスケ）開催

少ない人数ながらも、全員が仲良く、そして熱く試合を楽しめました。なにより、多くの先生方に参加していただいたことが、一番うれしかったことです。右上の写真は、彰子先生と麗嗣くんの容赦のない競り合いです。何かあったんでしょうか？その下は、祐麿先生の「鉄壁の防御」です。本気度が伝わります。